



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年6月26日

いわき市長 殿

提出者
住 所 福島県いわき市錦町落合16
氏 名 株式会社クレハ 生産・技術本部いわき事業所
事業所長 影山 晴康
電話番号 0246-63-5111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

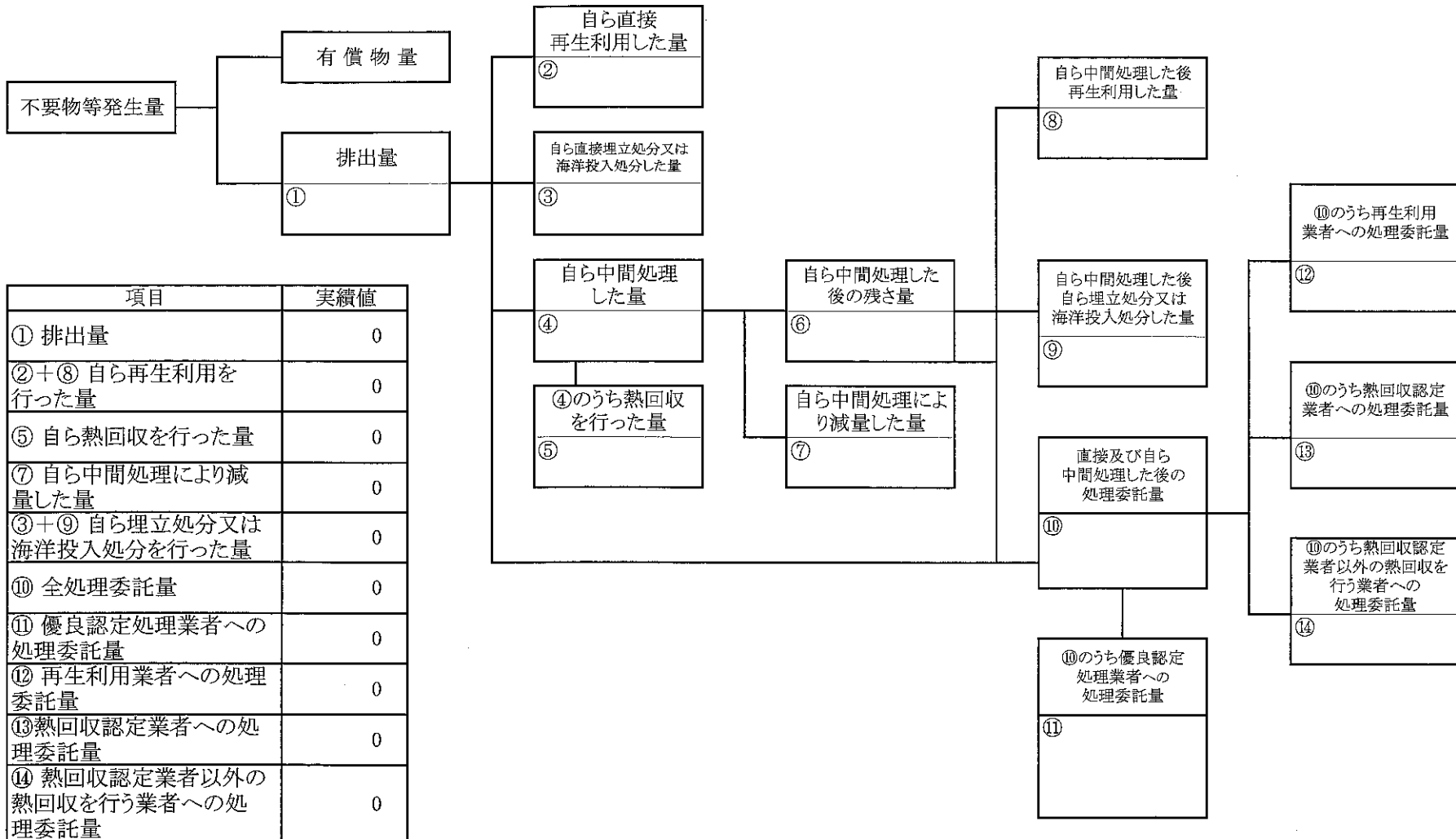
事業場の名称	株式会社クレハ いわき事業所
事業場の所在地	福島県いわき市錦町落合16
事業の種類	無機化学工業製品製造業・有機化学工業製品製造業・ プラスチック製造業・医薬品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023/4/1 ～ 2024/3/31

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	40,408 t	全処理委託量	22,427 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	12,906 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	14,423 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	17,732 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	249 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	401 t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 別紙参照)



項目	実績値
① 排出量	0
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

	廃棄物種類	排出量	自ら直接 再生利用 した量	自ら行う 産業廃棄物 の 埋立処分又は 海洋投入処 分	自ら 中間処理 した量	④のうち 熱回収を 行った量	自ら中間処理 した後の 残さ量	自ら中間処 理 により 減量した量	自ら中間処 理 した後 再生利用 した量	自ら中間処理 した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分 した量	直接及び 自ら中間処 理 した後の 処理委託量	⑩のうち 優良認定 処理業者へ の 処理委託量	⑩のうち 再生利用 業者への 処理委託 量	⑩のうち 熱回収認 定 業者への 処理委託 量	⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を 行う業者への 処理委託量	自ら再生利用 を行う 産業廃棄物の 量	自ら埋立処分 又は 海洋投入処分 を行う 産業廃棄物の量
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	②+⑧	③+⑨
2023年度 計画・目標	燃えがら	2,760		178							2,582	1,782	2,100				178
	汚泥	25,895		70	20,445		2,713	17,732			8,093	6,237	1,856		401		70
	廃油	464									464	459	5				
	廃酸	10									10	10					
	廃アルカリ	108									108	108					
	廃プラスチック	650		1							649	622	27				1
	木くず	55									55	47	9				
	金属くず	135									135	10	124				
	ガラスくず	30									30	30	0.3				
	ばいじん	10,300									10,300	3,600	10,300				
	水銀使用製品産業廃棄物	2									2	2	2				
	合計	40,408	0	249	20,445	0	2,713	17,732	0	0	22,427	12,906	14,423	0	401	0	249
2023年度 実施状況	燃えがら	1,860		170							1,691	1,144	1,202				170
	汚泥	19,344		56	15,463		1,863	13,601			5,688	3,987	1,700		431		56
	廃油	883									883	879	4				
	廃酸	101									101	101					
	廃アルカリ	51									51	51					
	廃プラスチック	524									524	485	43				
	木くず	32									32	15	20				
	金属くず	69									69	8	67				
	ガラスくず	26									26	26	0.4				
	がれき類	0.1		0.1													0.1
	ばいじん	10,054									10,054	2,773	10,054				
	石綿含有産業廃棄物	0.03									0.03	0.03					
	水銀使用製品産業廃棄物	2									2	2	2				
	水銀含有ばいじん	157									157	157					
	合計	33,104	0	226	15,463	0	1,863	13,601	0	0	19,278	9,628	13,093	0	431	0	226